

光琳を慕う

中村芳中

Höchjū meets Kōrin



2014年4月8日(火)→5月11日(日)

開館時間:10:00~18:00(金・土曜日は20:00まで) *入場受付は閉館の30分前まで

休館日:4月21日(月)、5月7日(水)

観覧料:一般 1000円(800円)、大学生 700円(560円)

※小・中学生、高校生、障害者手帳をお持ちの方とその介護者1名は無料 ※()内は前売り、団体20名以上、市内にお住まいの65歳以上の方の料金 ※前売券は千葉市美術館ミュージアムショップ(3月28日まで)、およびローソンチケット(Lコード:39356)、セブンイレブン(セブンコード:027-430)、千葉都市モノレール「千葉みなと駅」「千葉駅」「都賀駅」「千城台駅」の窓口(5月11日まで)にて販売。

☆リピーター割引:本展チケット(有料)半券のご提示で、2回目以降の観覧料が半額になります。

主催:千葉市美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会

協賛:ライオン、清水建設、大日本印刷、損保ジャパン、日本テレビ放送網

千葉市美術館

Chiba City Museum of Art

〒260-8733 千葉市中央区中央3-10-8 Tel.043-221-2311(代) <http://www.ccma-net.jp>





1 ■講演会「光琳追慕の系譜—光琳の江戸下りから抱一をつなぐ—」

4月12日(土)14:00～(13:30開場) 11階講堂にて
講師:玉蟲敏子(武蔵野美術大学教授)
先着150名(当日12:00より11階にて整理券配布) 聴講無料

■特別市民美術講座「かわいい琳派 中村芳中」

4月20日(日)14:00～(13:30開場) 11階講堂にて
講師:福井麻純(細見美術館主任学芸員)
先着150名(当日12:00より11階にて整理券配布) 聴講無料

■落語会「抜け雀」

5月10日(土)14:00～(13:30開場) 11階講堂にて
出演:三遊亭良楽(落語家)
先着150名(当日12:00より11階にて整理券配布) 観覧無料

■市民美術講座「光琳画譜」と中村芳中」

5月3日(土・祝)14:00～(13:30開場) 11階講堂にて
講師:伊藤紫織(千葉市美術館学芸員)
先着150名 聴講無料

■ギャラリートーク

担当学芸員による:4月9日(水)14:00より
ボランティアスタッフによる:会期中の毎週水曜日
(4月9日を除く)14:00より
水曜日以外の平日の14:00にも開催することがあります。
*混雑時は中止する場合があります。

■同時開催

所蔵作品展「春爛漫—千葉市美術館所蔵版画100選」
※「光琳を慕う—中村芳中」展をご観覧の方は無料

■次回展予告

「鳥根県立石見美術館所蔵 水彩画家・大下藤次郎」
会期:5月20日(火)～6月29日(日)



■交通案内

■JR千葉駅東口より
徒歩約15分/バスのりば⑦より大学病院行または南矢作行にて
「中央3丁目」または「大和橋」下車徒歩約3分/千葉都市モノ
レール県庁前方面行「霞川公園駅」下車徒歩約5分
■京成千葉中央駅東口より徒歩約10分
■東京方面から車では
京葉道路・東関東自動車道で宮野木ジャンクションから木更津方
面へ、貝塚IC下車、国道51号を千葉市街方面へ約3km、広小路
交差点近く。
※千葉市中央区役所と同じ建物です。
※地下に、区役所と共用の機械式駐車場がありますが混雑時はご
不便をおかけすることもありますので、公共交通機関での来館をお
願いします。

千葉市美術館
Chiba City Museum of Art

〒260-8733 千葉市中央区中央3-10-8
Tel.043-221-2311(代) Fax.043-221-2316
http://www.ccma-net.jp



中村芳中(なかもとほうちゅう)は江戸時代後期に大坂を中心に活動しました。最初は文人画風の山水や指頭画を描きますが、尾形光琳の画に傾倒し、たらし込みを駆使した作品を描くようになります。江戸へ下った芳中は享和二年(一八〇二)に『光琳画譜』を出版します。江戸琳派の祖として近年人気の高い酒井抱一が琳派風の作品を描き始めるのとはほぼ同時期のことでした。その後芳中は大坂へ戻り、ぼつたりしたかたちのほほえましい作品を多く残しました。

芳中については『中村芳中画集』がすでに一九九一年に出版されており、二〇〇三年には京都・細見美術館で芳中を取り上げた展示が行われています。今までの成果を踏まえて、芳中の世界に多角的に迫る展示を目指し、尾形光琳から中村芳中に至る琳派の画家、当時の大坂画壇の作品も併せて展示します。

*会期中に大幅な展示替えを行います。

光琳を慕う
Hochū meets Kōrin
中村芳中



2



3



4



5



6

- 1.中村芳中「許由果父・蝦蟇鉄拐図屏風」個人蔵(全期間展示)
画像提供:東京国立博物館 Image:TNM Image Archives
- 2.尾形光琳「燕子花園」大阪市立美術館
- 3.中村芳中「公卿観楓図」個人蔵
- 4.中村芳中「光琳画譜」より 享和2年(1802)刊 千葉市美術館(ラヴィッツ・コレクション)
- 5.中村芳中「老松立鶴図」個人蔵
- 6.中村芳中「白梅図」千葉市美術館
表面:中村芳中「白梅小禽図屏風」細見美術館
表面および裏面部分図:中村芳中「光琳画譜」より

